

◆ 夏の終わりに ◆

現在はこの状況下でなくとも、本校も含め、既に8月の最終週あたりから授業を開始する学校が多くなったので、“夏休み”が終わる…といっても、それほど郷愁を覚える程ではないのかもしれない。しかしながら、『少年時代』（井上陽水）ではないが、この時季にはやはりいろいろな想いを抱くものだ。酷暑が続いているけれども、夕方空を見上げると、明らかに季節の移ろいを感じる。

さて、2週間という短い夏休みではあったが、この休み期間中も含め8月中の生徒の皆さんの活躍は大変うれしいものであった。振り返ってみれば、梅雨明け当日と重なった[学校説明会](#)、3年生の[部活動での活躍](#)、そして3回目となった[ウルトラスタディ・マラソン](#)…、毎日繰り返される「本日の感染者は…」の報道により、往々にして後ろ向きな気持ちが先行しそうな状況の中、本当によくやっている。

以前、「本校の[探究の時間](#)」ということで紹介したが、1年生も頑張っている。



既に[HPにも掲載](#)しているが、この日のメニューは「国公立大調べ」のプレゼンテーション。この4月での本校の国公立大学合格者が40名を超えたこともあり、M先生が中心となり、今回のプログラムを“仕掛け”てくれた。

6、7校時連続で実施したこのプログラム、前半だけであったが全てのクラスを見て回った。

堂々としたプレゼンテーションであった。約2ヶ月の臨時休校期間の影響など、ほとんど感じさせないパフォーマンス。各大学の特徴をクラスメイトに語り、自分なりの視点でその大学について説明を加える。

こんなコメントがあった。

「多くの大学は90分授業ですが、この大学は60分授業なので高校からの学びには適していると思います…」 そうなんだ、知らなかったよ…。



夏の終わりに、また一つ宝物ができた。どうか妥協することなく、今の学びを続けていって欲しい。